

ホールダウン省施工吊りバンド SST 施工要領書

2025年 6月 30日

因幡電機産業株式会社
技術本部

1. はじめにお読みください

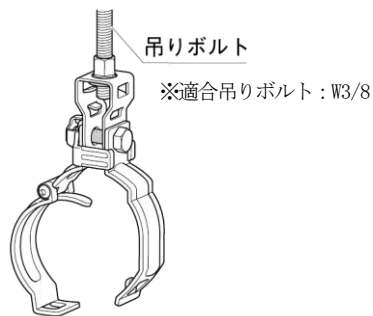
本製品は吊りボルトに配管を取り付けるための金具です。
それ以外の用途には使用しないでください。

【お願い】

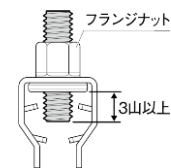
- ・金具の落下には注意してください。樹脂部品が破損するおそれがあります。
- ・金具に組み付けてあるボルトは外さず施工してください。
- ・配管と金具のサイズ違いがないことをよく確認のうえ施工してください。
- ・配管の支持間隔は 2.0m 以下で施工してください。
- ・配管の仮保持後は速やかにボルトを締め付けてください。仮保持状態で過度に揺らすと配管が落下するおそれがあります。
- ・一度ボルト締め付けを行った製品の再利用はしないでください。

2. 施工手順

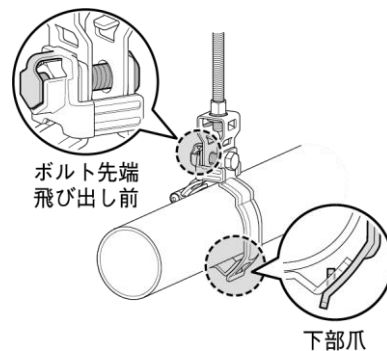
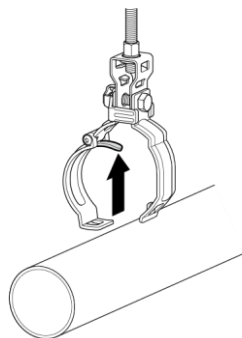
① 金具を吊りボルトに取り付けます。



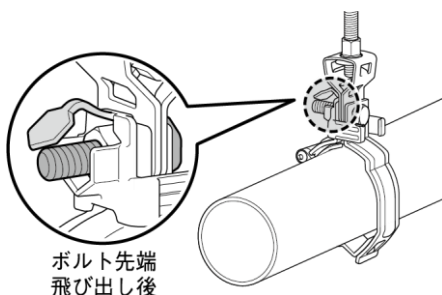
フランジナット下部より吊りボルトが 3 山以上飛び出すように金具を取り付けてください。



② 配管を下部爪が確実にかん合するまで押し上げ、配管を仮保持します。

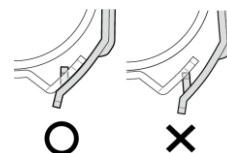


③ 配管がしっかり固定されるまでボルトを締め付けて完了です。



ボルト先端飛び出しで施工完了の目視確認ができます。

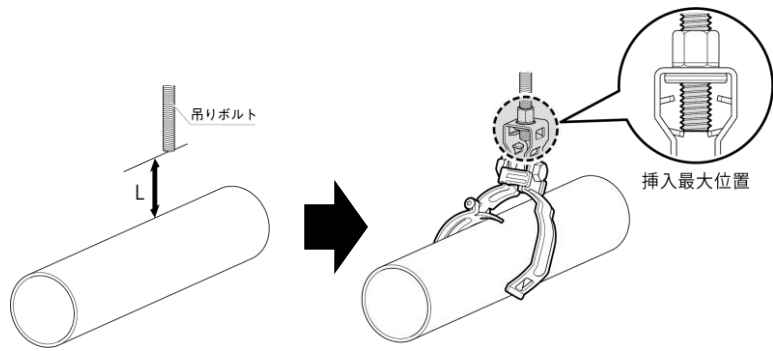
ボルト締め付けの前後で下部爪がかん合していることを確認してください。かん合が不十分な場合、下部爪が外れ配管を確実に固定することができません。



<配管を先に設置している場合>

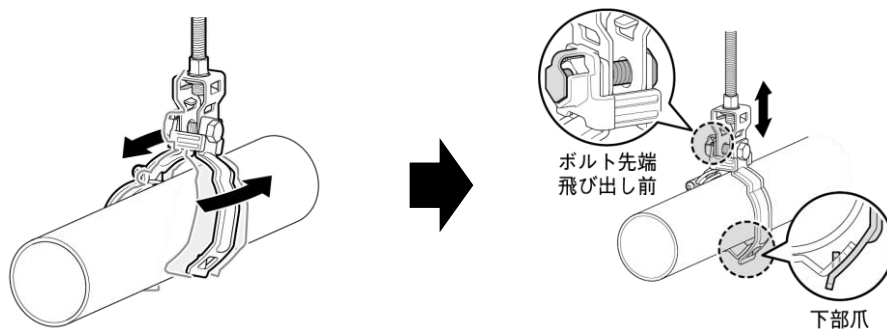
- ① 金具を吊りボルトに取り付けます。吊りボルトから配管までのクリアランス L は金具のサイズに合わせて調整してください。
(吊りボルトを挿入最大位置まで取り付けると施工が簡単です)

(単位 mm)



型番	クリアランス L
SST-15	42～52
SST-20V	42～52
SST-20	43～53
SST-25V	43～53
SST-25	43～53
SST-30V	43～53
SST-32	44～54
SST-40	44～54
SST-50	46～56
SST-65	46～56
SST-80	46～56
SST-100	47～57

- ② 左右のバンドを少しねじりながら配管に金具を取り付け、下部爪が確実に嵌合するように吊りボルト挿入位置を調整します。



- ③ 配管がしっかり固定されるまでボルトを締め付けて完了です。

● 推奨配管支持間隔

呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100
分類									
VP/VU管	1.0m 以下								2.0m 以下
SGP管	2.0m 以下								

※公共建築工事標準仕様書に準ずる

以上